

平成28年度 事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

I. 青少年活動

日本の将来を担い未来を築く青少年が、健康な身体を養い豊かな感性と高い徳性を磨き、有為な青年に成長することを目的に、“愛と汗の精神”に基づいた自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年健全育成活動の充実を図った。愛と汗の実践活動として、フィリピン・ゴミ山などの貧困の中で暮らす子供たちへの支援活動や大震災などの被災者に対する支援活動を継続して展開した。

1. 子ども自然体験活動

“愛と汗の精神”に基づいた子ども自然体験キャンプを全国的に開催し、大自然の中で障害児を含む異年齢の仲間とともに野営による共同生活をとおして、様々な課題や困難を乗り越え、自主性、協調性、感受性等を育てるなど、次代を担う青少年の心豊かな人間形成を図ることを目的に開催した。

(1) 「夏期子ども自然体験キャンプ」

〈別表-1〉

ア. 「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 7月～8月 <各3泊4日>

開催数 4会場（あっさぶ、桧原湖畔、いばらき、沖縄）

スタッフ等 133名

参加者 259名（内、障害児招待8名）

イ. 「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日>

開催数 2会場（富士山、関西）

スタッフ等 85名

参加者 286名

ウ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日>

開催数 6会場（美幌、房総、岐阜[友愛]、広島、北部九州、鹿児島）

スタッフ等 222名

参加者 263名（内、障害児招待5名）

エ. キャンプ主事・事務担当者

（ ）は事前・事後事務

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
① あっさぶ	根岸秋吉	真下淳一	② 桧原湖畔	谷野 渉	(市島寿里)
③ いばらき	志村和也	中野淳一	④ 沖 縄	志村和也	小川幸恵
⑤ 富 士 山	寺岡 賢	板倉和也	⑥ 関 西	寺岡 賢	板倉和也

オ. 子ども自然体験キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

No.	キャンプ名	実 施 日	派遣講師
1	あっさぶ	6月 7日(火)～ 9日(木)	真下淳一
2	桧原湖畔	6月 6日(月)～ 8日(水)	谷野 渉
3	いばらき	6月16日(木)～17日(金)	志村和也
4	沖 縄	6月13日(月)～14日(火)	志村和也

カ. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師
① 美 幌	保坂正志	② 友 愛	谷野 渉	③ 友 愛	青木富造
④ 広 島	保坂正志	⑤ 北部九州	保坂正志	⑥ 鹿 児 島	山崎政弘

キ. 印刷物の作成

①「子ども自然体験キャンプ」リーフレットの作成《子どもゆめ基金助成活動》

部 数 21,000部
体 裁 A2版、4色刷

②「子ども自然体験キャンプ」報告書

部 数 1,000部
体 裁 A4版、84頁

(2) 青少年活動（キャンプ）担当者会議

開 催 日 5月3日(火・祝)～5日(木・祝) <2泊3日>
会 場 ばんだいふれあいぴあ
講 師 2名（三瓶利正：福島県連合会事務局長、
藤松泰通：武術家、元直接打撃制空手世界チャンピオン）
スタッフ 4名（青木富造、志村和也、板倉和也、谷野渉）
参 加 者 12名（各地青少年活動（キャンプ）担当者）

(3) 冬期子ども自然体験（スキー）キャンプ

《第1回》

開 催 日 12月25日(日)～29日(木) <4泊5日>
開 催 地 福島県（ばんだいふれあいぴあ及びグランデコスノーリゾート）
指導者等 7名（指導員：高橋源一郎・相田好美〈SAJスキー指導員〉
講師等：青木富造、板倉和也、谷野渉
炊事員：小長谷貴子、近藤節子）
参 加 者 70名（リーダー20名、キャンパー50名）

《第2回》

開 催 日 平成29年3月26日(日)～30日(木) <4泊5日>
開 催 地 福島県（ばんだいふれあいぴあ及びグランデコスノーリゾート）
指導者等 9名（指導員：高橋源一郎、佐藤一夫〈SAJスキー指導員〉
講師等：武藤真希、青木富造、板倉和也、谷野渉
炊事員：小長谷貴子、近藤節子、ボランティア）
参 加 者 67名（リーダー25名、キャンパー42名）

(4) 子ども週末WAKU×2ひろば《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-2〉

自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年指導者が集い、専門家や実践者を講師に招き、さまざまな体験活動やその展開方法についての学習をするとともに、新たな視点に立って展開する週末体験活動を模索し実践活動を行った。

ア. 子ども週末WAKU×2ひろばリーダー研修会

開催数 10会場 <各1日～1泊2日>

指導者等 16名

参加者 155名

イ. 子ども週末WAKU×2ひろば

開催数 8会場 <各1日～1泊2日>

指導者等 55名（指導者15名、青年指導者40名）

参加者 384名

(5) 夏期少年少女合宿講習会(青年会議所との共催事業) (会場：SYD伊勢青少年研修センター)

期 日	名 称	参 加 者
7月25日(火)～27日(木)	寺子屋伊勢合宿	54名
7月29日(土)～31日(月)	岸和田少年少女サマースクール	68名
8月2日(水)～4日(金)	伊勢少年少女合宿講習会	130名
8月26日(土)～28日(月)	榎原ジュニアサマースクール	21名
合 計	4 回	273名
前年度	3 回	217名

(6) 第18回40kmナイトウォーク親子の集い(会場：SYD伊勢青少年研修センター)

開催日 9月10日(土)～11日(日)

対 象 小学3年生以上の子どもと大人

参加人数 152名

2. 子どもボランティア活動推進事業

“愛と汗の精神”に根ざした様々なボランティア活動を実践することにより、人のため、社会のために行動することの素晴らしさや真の喜びを体感する。お互いに理解し合い、分かち合い、豊かな感性を磨き、思いやる心や心豊かな人間形成に寄与する活動を行った。

(1) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

地域、学校(生徒会・ボランティア部)、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介した。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解することにより、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人へ感謝 など、青少年の豊かな心を育むことを目的に開催した。

ア. 幸せの種まきキャンペーン《出前講座・課外授業》の実施

〈別表－３〉

開催数 65会場
派遣講師 3名（青木富造、山口千恵子、志村和也）
体験発表者 5名（長谷川理恵、児玉夏菜、袴田綾乃、飯野真子、飯野理子）
参加者 11,506名

イ. パンフレットの作成・配布

部数 14,000部
体裁 A4版、8頁、4色刷
配布先 14,000ヶ所

（２）大震災被災地訪問ふれあいボランティア

被災者の暮らす仮設住宅を訪問し、手作りのカレーやコーヒー等を提供するなかで、協力し合い、話し合い、喜びを分かち合う活動を行った。また、ゲームや遊びにより子どもたちの歓声がこだまするような至福の時間を共有する活動を展開。このことにより、青少年がボランティア活動の真の喜びを体感し、思いやる心や豊かな人間性・社会性を高め、自ら考え・行動する力を育むことを目的に開催した。

ア. 東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア

〈別表－４〉

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期間 5月～平成29年1月 ＜各2泊3日＞
開催数 6回（特別開催1回を含む）
活動場所 宮城県内の仮設住宅
スタッフ 16名
参加者 131名（リーダー21名、参加者110名）

イ. SYD熊本震災炊出しボランティア

《第1回》

期日 6月23日(木)～30日(木) ＜7泊8日＞
宿泊 熊本県立豊野少年自然の家
スタッフ 志村 和也、谷野 渉
参加者 31名（1日以上）
活動内容 期日：6月25日(土)～28(火) ＜4日間＞
場所：益城町避難所（特別養護老人ホーム、広安西小学校、広安小学校、保健福祉センター）
炊出しメニュー：カレー・温野菜、計1500食、他にコーヒー、お菓子 等

《第2回》

期日 9月29日(木)～10月5日(水) ＜6泊7日＞
宿泊 熊本県立あしきた青少年の家
スタッフ 青木 富造、志村 和也、谷野 渉
参加者 22名（当日、1泊～参加含む）
活動内容 期日：10月1日(土)～3日(月) ＜3日間＞
場所：益城町総合体育館・御船町カルチャーセンター
炊出しメニュー：カレー・豚汁、計550食、他にコーヒー、お菓子 等

(3) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表－5〉

期 間	5月～平成29年2月	＜金曜日18時30分～21時＞
開 催 数	8回	
会 場	S Y D 会議室	
講 師	15名	
出 席 者	206名	

3. SYD指導者の養成

自然体験や社会奉仕体験などのさまざまな実践活動を実践し、自ら活動の楽しみや喜びを体得するとともに、子どもたちを安全に導きながら体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、“愛と汗の精神”を日常的に実践するSYD指導者の養成に努めた。

(1) 全国青年ボランティア・アクション in 福島

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

福祉・災害ボランティア活動の心構えや基本的技術を習得し、福祉施設や公共施設、震災で避難生活を余儀なくされている仮設住宅等での社会奉仕体験活動を実践し、社会奉仕体験活動の楽しみや喜びを体得することによりボランティア精神を涵養し、指導者として資質の向上を図った。

《第1回》

期 日	4月1日(金)～6日(水)	＜5泊6日＞
会 場	ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地仮設住宅ほか	
講 師	2名 遠藤信幸：町立三春病院ケアワーカー、高橋源右衛門	
スタッフ	6名 山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、志村和也、谷野涉	
参 加 者	18名（全国の中学生及び高校生等）	

《第2回》

期 日	7月29日(金)～8月3日(水)	＜5泊6日＞
会 場	ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地仮設住宅ほか	
講 師	2名 遠藤信幸：町立三春病院ケアワーカー、高橋源右衛門	
スタッフ	6名 山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、志村和也、谷野涉	
参 加 者	32名（全国の中学生及び高校生等）	

《第3回》

期 日	平成29年3月31日(金)～4月5日(水)	＜5泊6日＞
会 場	ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地仮設住宅ほか	
講 師	2名 加藤綾子（町立三春病院ケアワーカー）、高橋源右衛門	
スタッフ	6名 山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野涉	
参 加 者	33名（全国の高校生等）	

★全国青年ボランティア・アクション in 福島事前調査

期 日	6月6日(月)～8日(水)	＜2泊3日＞
派 遣 者	青木富造	
派 遣 先	福島県下（喜多方市、会津若松市 他）	

(2) 全国青年ボランティア・フォーラム《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

幅広い分野でのボランティア活動についての協議を行い、ボランティアグループの活性化や老壮青の幅広い年代層を取り込んだボランティアを模索し、実践する青年リーダーの育成を図った。

開催日 10月8日(土)～10日(月・祝) <2泊3日>
会場 国立信州高遠青少年自然の家
指導者等 5名 (青木富造、山口千恵子、志村和也、板倉和也、谷野渉)
実行委員 4名 組織の代表者および有志 (高校生以上の青年)
参加者 18名

(3) 全国青年ボランティア・フェスティバル

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

ボランティア活動や活動の中での気づきや思いを発信する機会として開催し、そこから明るい社会を築くためには、あるいは周りや自分自身を輝かせるために何ができるかを考え、今後の活動の促進を図るための青年リーダーを養成に努めた。

開催日 平成29年2月11日(土)～12日(日) <1泊2日>
会場 SYDホール及び国立オリンピック記念青少年総合センター
臨席 2名 (御手洗康、山崎一紀)
指導者等 5名 (青木富造、山口千恵子、古城門奈津、板倉和也、谷野渉)
実行委員 8名 (組織の代表者及び有志 (高校生以上の青年))
参加者 40名 (全国の青少年及び青少年指導者)

★SYD創立11周年記念全国青年フェスティバル来場者

開催日時 平成29年2月11日(土) 12時30分～16時30分
会場 SYDホール
来場者数 225名

来賓 (文部科学省2名、奨励賞選考委員1名)	3名
きらめきメッセージ全国コンクール審査員	7名
SYDボランティア奨励賞受賞者 (受賞者・関係者)	19名
きらめきメッセージ全国コンクール (発表者15+引率応援22)	37名
全国青年ボランティアフェスティバル参加者48名 (-5名)	43名
青春パフォーマンズ (日本体育大学チアリーディング部26+鶴見大学附属 中学高校JRC国際ボランティア部16+横浜南陵高校社会福祉部21)	63名
一般 (組織関係19名+青年部関係34名)	53名

(4) 報告書の作成

内容 全国青年ボランティア・アクション in 福島、全国青年ボランティア・フェスティバル、全国青年ボランティア・フェスティバル、東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア、SYDボランティア奨励賞受賞者名簿、SYDきらめき全国メッセージコンクール受賞者名簿

部数 800部
体裁 A4版

(5) SYD指導者資格認定制度

愛と汗の精神を理解し、自然体験活動や社会奉仕体験活動等を日常的に展開する指導者の養成を目的に実施する各種事業参加者に指導者資格証を発行するなど、SYD指導者資格認定制度の運用と充実を図った。

4. 青年組織育成活動

“愛と汗”の精神に基づいた自然体験・社会奉仕体験活動を年間を通して実践する青年部組織の育成・充実のため講師の派遣や活動資金の助成をした。

5. 表彰等

(1) 第11回SYDボランティア奨励賞

ア. 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会へ広報依頼をしたところ、全国34都道府県から75件の応募があった。

イ. 選考委員会

日 時 平成29年1月7日(土) 11時～13時30分

会 場 SYD会議室

出席者 選考委員9名

明石要一(千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長)

鈴木優子(学校法人立教女子学院理事・法人事務局長)

仲野好重(一般財団法人人間塾代表理事・塾長)

長沼 豊(学習院大学教授)

堀井榮夫(全日本中学校長会事務局長)

山田一功(社団法人福祉法人ひかりの里理事長、公益社団法人日本PTA全国協議会元副会長)

御手洗康(修養団理事長)

山崎一紀(修養団主幹)

青木富造(修養団常務理事・青年部長)

職員3名(岩佐加寿子、真下淳一、山口千恵子)

《選考結果》

文部科学大臣賞 1点

豊後高田市立戴星学園

(大分県)

理事長特別賞 1点

神奈川県立吉田島総合高等学校

(神奈川県)

優秀賞 3点

【小・中学生の部】 唐津市立浜玉中学校

(佐賀県)

【高校生の部】 大森学園高等学校 おもちやの病院

(東京都)

【大学生・一般の部】 (該当なし)

特別賞 2点

長野県下高井農林高等学校

(長野県)

九中校区すこやかネット

(大阪府)

ウ. 贈呈式 *「全国青年ボランティア・フェスティバル」の中で開催

日 時 平成29年2月11日(土) 15時～16時30分

会 場 SYDホール

出席者 225名(受賞関係者19名、来賓3名ほか)

内 容 文部科学省生涯学習政策局青少年課長の土肥克己様より来賓祝辞と文部科学大臣賞の贈呈、選考委員・(一財)人間塾代表理事・塾長の仲野好重様より選考経過を報告、御手洗理事長より優秀賞と特別賞の贈呈、その後各賞受賞者から挨拶と活動発表があった。

(2) 第2回SYDきらめきメッセージ全国コンクール《文部科学省後援》

あなたが体験した きらめき、ブレイクスルー(壁を乗り越え前進すること)、自分の中の奇跡…、そこから生まれた思いやメッセージを発表することにより、青少年のやる気、元気を育てることを目的に開催した。応募数3,189件より一次審査により15名が選ばれ全国コンクールにおいて発表を行い、各賞が決定した。

開催日時 平成29年2月11日(土) 13時～14時30分

会 場 SYDホール

審査委員 7名：御手洗康、山崎一紀、安仁屋聡、石田博嗣、梶山優子、宝井琴柑、青木富造 (欠席：明石要一、古賀克彦、田中浩史)

受賞者 文部科学大臣賞1名 山本 彩佳(桜美林中学校1年)

理事長賞 1名 口町日向子(桜川市立岩瀬小学校5年)

優秀賞 3名 飯野 理子(成蹊高等学校1年)

渡邊佳緒里(北星学園余市高等学校3年)

緑川 沙智(宇都宮大学4年)

きらめき賞10名 熊谷帆夏(岩手県・小6)、大倉夏音(埼玉県・中1)、
安宅佑亮(石川県・中3)、西嶋のどか(山梨県・中3)、
王 譽蓁(東京都・高1)、末永杏奈(山口県・高1)、
大竹竜生(山形県・高2)、山内 夏(沖縄県・高2)、
森 彩夏(高知県・高3)、丸山香織(宮崎県・大1)

6. 関係機関・団体との協力

(1) 会議出席

〈別表-6〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に会議に出席した。

II. 国際交流活動

1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動(サポーターシッププログラム)

フィリピンケソン市パヤタスのゴミ山で働く子どもたち(スカベンジャー)やマニラ市のストリートチルドレン(路上で生活する子どもたち)を訪問し、ボランティア活動・交流活動・支援活動の実践をとおして友好と相互理解を促進した。このことにより、自ら生きる意味を模索し、国際的視野を広げ、国際協力の精神を涵養し、国際協力における実践力を培い、学校や地域で活動する青少年指導者を育成することを目的に開催した。

(1) 青年ボランティア・アクション in フィリピン《文部科学省後援》

期 日 8月23日(火)～29日(月) <6泊7日>

訪問地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)

臨 席 1名(御手洗 康)

スタッフ 2名(青木富造、山口千恵子)

参加者 20名(全国の満15歳以上の中学生、高校生、大学生等の青年)

主な活動 ナボタス(水上生活者地区)・スモーキーマウンテン・パヤタスの訪問交流、マザーテレサ施設訪問ほか

※「青年ボランティア・アクション in フィリピン」支援バッグ作成作業

期 日 8月11日(木・祝)、12日(金) <2日間>

参加者 32名(11日：24名、12日：8名)

2. ブラジルとの指導者交流事業

ブラジル修養団の推薦する指導者及び青年リーダーを招聘し、伊勢講習会や子ども自然体験キャンプなどの参加・研修することにより、ブラジルで開催される少年少女講習会等で活躍する青少年指導者の養成を図った。また、ブラジルへ指導者を派遣した。

(1) 青年指導者の招聘

期 日 7月14日(木)～8月11日(木・祝) <29日間>
 招 聘 者 峰 エンジ 哲也(23歳・大学生)
 平山 ヘルメス 光男(26歳・社会人)
 主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ、都内視察ほか

(2) 青年リーダー受入れ

期 日 8月17日(水)～9月1日(木) <16日間>
 来 日 者 山本 マルコス 幸男(31歳・社会人)
 主な日程 青年ボランティア・アクション in フィリピン、いばらきキャンプ ほか

(3) ブラジルへの指導者派遣

ブラジル修養団の要請に応じて指導者を派遣し、日伯文化協会等と連携しながら開催される少年少女講習会や教育講演会及びブラジル修養団青年指導者研修会等に従事した。

期 日 平成29年1月3日(火)～2月11日(土・祝) <40日間>
 派 遣 先 ブラジル(サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ他)
 派 遣 者 保坂正志(講師・社会教育部次長)
 主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

期 日	講習・講演会名	参加者	スタッフ リーダー	計
1/ 6～ 8	モジ・ダス・クルーゼス講習会	137名	57名	194名
1/13～15	スザノ講習会	164名	64名	228名
1/17～19	アサイ講習会	137名	25名	162名
1/20～22	マウア・ダ・セーハ講習会	51名	26名	77名
1/24～26	ロンドリーナ リーダー養成研修会	33名	16名	49名
1/27～29	マリンガ修養林間学校	130名	43名	173名
合 計		652名	231名	883名

公益2

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会(定例講習会)

開 催 数 10回 <各3泊4日>
 参 加 者 359名(定員各60名)
 対 象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

〈別表-7〉

(2) みがく特別講習会

〈別表－7〉

開催数 4回 <各1泊2日>
参加者 346名(定員各100名)

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 日 A:初穂曳コース:10月15日(土)～17日(月) <2泊3日>
B:神嘗祭コース:10月16日(日)～17日(月) <1泊2日>
参加者 A:27名
B:36名 計63名(定員各50名)

イ. 初詣新春の集い

期 日 平成29年1月7日(土)～8日(日) <1泊2日>
参加者 31名(定員80名)

(4) 受託講習会

〈別表－8〉

開催数 20回
参加者 891名

(5) 一般研修会

〈別表－9〉

開催数 24回
参加者 1,154名

(6) 講師派遣(講演・講習活動)

〈別表－10〉

開催数 52回
参加者 5,219名

2. 関東・東北地区講習会

(1) 新入社員セミナー

期 日 4月13日(水)～15日(金) <2泊3日>
会 場 レイクサイド磐光(福島県)
講師等 6名(白石高司、木下茂美、山崎一紀、根岸秋吉、山崎政弘、谷野渉)
参加者 88名(男:57名、女:31名)

(2) リフレッシュセミナー

期 日 平成29年2月8日(水)～10日(金) <2泊3日>
会 場 レイクサイド磐光(福島県)
講師等 4名(鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也)
参加者 25名(男:23名、女:2名)

(3) 受託セミナー

〈別表－11〉

ア. 新入社員セミナー

① 1日コース

開催数 2回
参加者 145名

② 1泊2日コース

開催数 5回
参加者 375名

③ 2泊3日コース

開催数 4回
参加者 122名

イ. ブラインドウォークセミナー

① 半日コース

開催数 2回

参加者 165名

ウ. パート社員セミナー

① 1日コース

開催数 11回

参加者 800名

エ. 一般社員セミナー

① 1日コース

開催数 5回

参加者 131名

② 1泊2日コース

開催数 15回

参加者 705名

オ. 一般社員講演会

① 1日コース

開催数 9回

参加者 265名

(4) 企業組織訪問

講演会、講習会の参加者募集及び団運動の拡大を目的として企業及び組織を訪問した。

期 日	訪問地域	訪問社数	訪問者
9月14日(水) ～16日(金)	茨城県下 (ひたちなか市・日立市)	14社	根岸
9月28日(水) ～30日(金)	北陸地区 (福井県・富山県・石川県) 近畿地区 (京都府・兵庫県) 中部地区 (岐阜県)	11社	根岸
10月25日(火) ～28日(金)	福島県下 (白河市・郡山市・本宮市・田村市他) 栃木県下 (栃木市)	27社	根岸
合 計	3回	52社	

***連合会・クラブ、企業・青少年団体等主催講習会・講演会(集計)〈別表-12〉**

(1) 講習会

開催数 104回

参加者 5,305名

(2) 講演会

開催数 64回

参加者 5,746名

IV. 家庭教育活動

1. 家庭教育セミナー

親子のあり方、高齢社会における世代間交流など、現代の家庭を取り巻く諸問題に焦点をあて、家庭が本来持っている機能や役割（家庭力）を再認識することで、幸せな家庭やイキイキとした地域社会づくりに資するためのセミナーを実施した。

開催にあたっては実施主体のニーズに応じ、講演やワークショップなどの形式を用いながら、参加者の意識高揚や日常行動の改善につながる具体的実践を提案した。

開催日	開催地	会 場	実施団体	参加者数	講 師
11月19日(土)	福島県郡山市	小山田幼稚園	修養団福島県連合会	130名	久世郁夫
1月29日(日)	香川県高松市	香川県教育会館	修養団香川県連合会	70名	武田数宏 志村和也
3月5日(日)	三重県伊勢市	伊勢青少年研修センター	修養団伊勢向上会 修養団岐阜県連合会 青年部灯会 修養団伊勢いなほの会	29名	山崎一紀 保坂正志
3月28日(火)	埼玉県嵐山町	嵐山町北部交流センター	修養団嵐山町連合会	96名	立川らく次 保坂正志
合計	4回			325名	

2. 親子で楽しむ漁業体験 in 孤崎

親と子がともに漁業体験をする中で、食に対する感謝や多くの人や自然に生かされていることを実感し、子どもたちの自主性や協調性を育み、親子の絆を深める機会とした。

開催日	開催地	会 場	実施内容	参加者数	講 師
5月28日(土) ～29日(日)	宮城県 石巻市	狐崎漁村センター 狐崎漁港	カキ養殖の漁具整備 カキ剥き、刺し網漁体験 など	27名	保坂正志 山崎政弘
9月24日(土) ～25日(日)				38名	保坂正志 山崎政弘
合 計	2回			65名	

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

(1) 愛汗実践塾

「愛と汗」を基本とした修養団の理念を学び、「幸せの種まき」を実践するための意識を高める機会として、連合会・クラブを実施団体とし研修会形式を用いて各地で開催。合わせて会員組織の活性化や後継者育成、会員拡大を図った。

開催日	開催地	会 場	実施団体	参加者数	講 師
10月19日(水)	福島県 喜多方市	喜多方市役所 保健センター	修養団愛汗喜多方 修養団福島県連合会 協力：修養団山都愛汗の会 後援：福島民報社 ほっと・ねっと社	38名	久世郁夫 保坂正志
11月5日(土)	鹿児島県 日置市	伊集院地区 公民館	修養団鹿児島県連合会	10名	久世郁夫 保坂正志
11月12日(土)	新潟県 上越市	上越市 市民プラザ	修養団上越 修養団新潟県連合会	20名	久世郁夫 志村和也
11月26日(土)	北海道 美幌町	美幌グランド ホテル	修養団美幌会	46名	山崎一紀 保坂正志
3月12日(日)	東京都 渋谷区	SYD会議室	修養団よぎっこ倶楽部 修養団日立システムズ 五十鈴会 修養団神奈川県連合会 修養団東京都連合会 修養団千葉県連合会	16名	山崎一紀 保坂正志
合 計	5回			130名	

(2) 第8回「チャリティー演芸会」花咲くニツ目の巻ーストリートチルドレン支援ー

日 時 6月17日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール

出演者 立川志らく、春風亭ぴっかり、柳亭市弥、三遊亭日るね

参加者 75名

係 員 9名(役職員6名、ボランティア3名)

※収益金91,305円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(3) 第13回「平田康子チャリティーJAZZコンサート」ーストリートチルドレン支援ー

ジャズ・ヴォーカリストの平田康子さんをはじめとするプロミュージシャン5名が出演し、全15曲を披露した。

日 時 10月14日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール

参加者 185名

出演者 平田康子、藤原清登、富川雅嗣、今村真一朗、スティーブ・サックス

※収益金349,681円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(4) SYD「チャリティーバザー」ーストリートチルドレン支援ー

関係企業・団体およびクラブ・連合会等からの名産品や野菜等を会員ボランティア38名と役職員が係員となって格安で販売した。また、野菜等を提供下さった埼玉県連合会会員並びに嵐山町連合会会員等合計45名が、大型バスを利用して参加した。

期 日 11月12日(土) 12時00分～14時00分

会 場 SYDビルエントランスホールなど

参加者 300名(近隣住民および会員など)

※収益金142,163円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 会員組織活動への支援など

(1) 第5回「全国修養団運動推進会議」の開催

日 時 6月4日(土) 13時～17時30分

会 場 SYDホール

出席者 59名

主なクラブ・連合会の代表者またはそれに準ずる人 36名

オブザーバー 4名

役職員 19名

内容等 修養団創立110周年記念大会記録DVD放映後、平成27年度事業報告と決算および平成28年度事業計画と予算の概要説明をおこなった。続いて、会員組織活動活性化のために参加者全員がそれぞれ5つの分科会（自然体験活動、週末体験活動、家庭教育活動、愛汗実践塾、美化活動）に分かれて熱心に協議をおこなった。

(2) 講師・役職員の派遣

クラブ・連合会の総会や諸活動に講師・役職員を派遣した。 回数: 18回

* 下記は、開催日、事業名、会場、参加者数、派遣者名の順

4月24日	修養団新潟県連合会「定期理事会・役員総会」「創立90周年を祝う会」 18名(新潟市・新潟東映ホテル)	【山崎、根岸】
5月21日	SYDボランティア友の会「第9回総会」 16名(SYD会議室)	【御手洗】
5月21日	修養団愛汗郡山「第11回定例総会・理事会」 10名(郡山市・花の祥)	【久世】
6月 4日	修養団よよぎっこ倶楽部「笑顔のつどい」 32名(東京都・キングスランド)	【山崎、久世ほか】
6月17日	修養団愛汗喜多方「平成28年度総会」 20名(喜多方市・厚生会館)	【久世】
6月19日	修養団鹿児島県連合会「平成28年度総会」 15名(鹿児島市・加治屋町町民館)	【山崎、山崎政】
6月21日	修養団山都愛汗の会「平成28年度総会」 11名(喜多方市・山都開発センター)	【山崎】
6月24日	修養団神奈川県連合会「第35回定期総会」 8名(横浜市・はせがわビル)	【根岸、小川】
6月30日	修養団福島県連合会「平成28年度通常総会」 25名(郡山市・ベルヴィ郡山館)	【山崎、根岸】
7月22日	修養団日立システムズ五十鈴会「第28回定期総会」 16名(横浜市・はせがわビル)	【久世、小川】
7月23日	修養団日立電子サービスOB五十鈴会「平成28年度総会」 7名(SYD会議室)	【保坂、小川】
10月28日	修養団千葉県連合会「第42回定期総会」 10名(千葉市・バーディーホテル千葉)	【山崎、久世】
11月 6日	「坊野地区文化祭」講演会(修養団鹿児島県連合会) 60名(鹿児島県日置市・坊野地区公民館)	【久世】
11月12日 ～13日	修養団新潟県連合会「役員研修会」 12名(上越市・ネイチャーリングホテル米本陣)	【久世、志村】
12月17日	関東近郊修養団有志会員「今年一年を振り返る懇談会」 13名(SYD会議室)	【根岸、保坂、小川、志村】
12月23日	皇居参賀の集い実行委員会<神奈川県・千葉県・東京都各修養団連合会>	

	「天皇誕生日・奉祝～皇居参賀の集い」	
	49名（東京都・皇居）	【保坂、小川】
1月20日 ～24日	修養団沖縄がじまる会・SYDボランティア友の会「第30回記念沖縄 戦遺骨収集ボランティア」	
	20名（沖縄県・山雨の塔、南北の塔）	【山崎】
3月9日	修養団東松山向上会「箭弓稲荷神社清掃奉仕並びに講演会」 《後援：修養団埼玉県連合会》	
	45名（埼玉県東松山市・箭弓稲荷神社）	【山崎】

（３）喜多方市教育委員会「人づくりの指針講師事業」への支援

要請により、講師を派遣した。

6月9日	喜多方市赤十字奉仕団総会講演会	
	50名（喜多方市総合福祉センター）	【久世】
7月8日	「蓮沼門三翁の教え」学習講演会	
	50名（喜多方市立堂島小学校）	【久世】
7月15日	地域理解学習講演会	
	97名（喜多方市立塩川中学校）	【久世】
10月19日	きたかた中央大学講演会	
	98名（喜多方市中央公民館）	【久世】
11月17日	関柴小学校5・6年道徳講話	
	54名（喜多方市立関柴小学校）	【久世】

（４）「修養団創立111周年を祝う集い」への支援

神奈川県（担当連合会）・千葉県・東京都各連合会の合同主催で実施され、その支援をおこなった。

日 時	2月11日（祝・土）
会 場	SYD会議室
内 容	記念式・修養団年次功労者表彰 記念講演「創業者・蓮沼門三の願い」〈修養団主幹・山崎一紀〉 ＊参加者32名（功労者表彰受賞者8名を含む） 祝賀会 ＊参加者29名

（５）諸団体との連携

4月26日	社会教育団体振興協議会「第1回幹事会」	
	7名（東京都目黒区・（公財）ハーモニィセンター会議室）	【御手洗、久世】
5月23日	千修会「理事会」	
	9名（SYD会議室）	【根岸】
6月23日	千修会「平成28年度定期総会」	
	14名（SYD会議室）	【根岸】
6月30日	社会教育団体振興協議会「平成28年度総会」	
	30名（東京都・東海大学校友会館）	【御手洗、久世】
	「第44回社会教育関係者懇親の集い」	
	108名（東京都・東海大学校友会館）	【御手洗、久世、青木、真下〈受付係員〉】
10月2日	千修会「千駄ヶ谷社会教育90年写真展」	
	（東京都渋谷区・鳩の森小学校）	
	※第19回「千駄ヶ谷まつり」の中で実施	

10月 7日 千修会「秋休みバスツアー・おいしい食品工場見学と面白科学体験」
25名（千葉県野田市・埼玉県越谷市） 【根岸】

12月14日 千修会「理事会」
7名（SYD会議室） 【保坂】

3. 会員状況と会員組織

諸事業において会員申込案内パンフレットを配布した。また、機関誌等によって会員拡大を呼びかけるとともに、クラブ・連合会には、特に夏期事業等を通じての会員加入促進をお願いした。

(1) 会員の現状

〈別表-13〉

会員種別	当年度(29.3.31現在)	前年度(28.3.31現在)	増減
ふれあい会員	492	372	120
愛会員	603	633	△30
向上会員	1,469	1,659	△190
永生会員	10,728	10,728	0
合計	13,292	13,392	△100

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(29.3.31現在)	前年度(28.3.31現在)	増減
法人会員	99	98	1
個人会員	169	157	12
合計	268	255	13

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。引き続いて東日本大震災被災者支援について呼びかけるとともに、4月に発生した熊本地震に対しても支援を呼びかけた。

単位：円

		28年4月	5月	6月	7月	8月	9月
月計金額		406,574	554,182	583,491	766,378	397,411	375,764
《一般献金》		68,111	46,467	130,477	150,414	108,411	79,101
《指定献金》		338,463	507,715	453,014	615,964	289,000	296,663
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	50,000	16,315	12,000	43,568	10,000	126,926
	熊本地震被災者支援	255,263	477,400	277,727	82,000	92,000	0
	フィリピン 子ども学資支援	18,000	0	33,000	180,000	108,000	108,000
	大学生学資支援	1,200	0	75,000	281,396	15,000	2,401
	学校支援	14,000	14,000	55,287	29,000	64,000	59,336

		10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
	月計金額	461,059	220,263	1,619,538	195,932	206,063	148,762
	《一般献金》	367,965	45,726	1,472,758	50,516	72,298	79,794
	《指定献金》	93,094	174,537	146,780	145,416	133,765	68,968
指定献金内訳	東日本大震災被災者支援	0	104,577	0	42,366	0	50,000
	熊本地震被災者支援	44,000	0	0	0	0	0
	フィリピン	子ども学資支援	18,000	33,000	90,000	72,000	0
		大学生学資支援	17,094	2,960	12,780	17,050	3,923
		学校支援	14,000	34,000	44,000	14,000	59,690
						59,690	15,045

		今年度合計	前年度合計
	年間合計金額	5,935,417 (262 件)	4,567,397 (245 件)
	《一般献金》	2,672,038 (113 件)	
	《指定献金》	3,263,379 (149 件)	
指定献金内訳	東日本大震災被災者支援	455,752 (13 件)	
	熊本地震被災者支援	1,228,390 (45 件)	
	フィリピン	子ども学資支援	732,000 (40 件)
		大学生学資支援	430,879 (21 件)
		学校支援	416,358 (30 件)

〈チャリティーツアーの実施〉

献金委員会の呼びかけで、修養団のバスを利用しチャリティーツアーを2回実施し、合計86,490円を献金した。

第1回 6月11日(土) 山梨県・サクランボ狩り 参加者30名、心の参加者9名

第2回 12月4日(日) 福島県・トマト狩り 参加者23名、心の参加者8名

*心の参加者=参加できないが、趣旨に賛同して献金して下さる人

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子供46名、大学生4名の学資支援、380名の子供たちが学ぶ2つの学校の支援を行い、ブラジルの施設も支援した。また、4月14日に発生した熊本地震の被災者への支援を行った。

※=全て指定献金／**=一部指定献金)

〈東日本大震災被災者支援〉

- ・「SYD東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア」
活動経費(*特別開催を含め6回分、食材費) 527,045 円**

〈その他の災害被災者支援〉

- ・熊 本 県： SYD熊本地震炊き出しボランティア活動経費(2回分) 634,756 円※
- ・熊本県益城町：熊本地震災害義援金(SYD福岡青年メンバーが持参) 650,000 円**

〈ストリートチルドレン支援〉

- ・フィリピン： ストリートチルドレン(学用品プレゼント、遠足招待等) 650,000 円
- ・フィリピン： 子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・46名) 828,000 円※

・フィリピン： 大学生学資支援(スカベンジャー・4名)	600,000 円**
・フィリピン： 「パンガラップ・ラーニング・スクール」 (学校運営支援・10万円×12ヵ月)	1,200,000 円**
・フィリピン： 「マザー・テレサの家」(支援品)	33,345 円
・ブラジル： 「コロニア・ベネーザ」(教育支援金)	70,000 円

〈福祉施設・団体支援〉

・福 島 県： 介護老人福祉施設「北原荘」	60,000 円
・福 島 県： 介護老人保健施設「天心ケアハイツ」	60,000 円
・三 重 県： 伊勢身体障害者「協和会」	80,000 円
・三 重 県： NPO法人「たまき末芳園」	80,000 円
・三 重 県： 社会福祉法人まほろばの里「しいの木園」	30,000 円

合 計 5,503,146 円
前年度合計 4,483,333 円

3. 幸せの種まき献金委員会

(1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

4月11日、5月10日、6月13日、7月12日、9月12日、
10月11日、11月11日、12月13日

平成29年 1月17日、2月6日、3月9日

(2) 報告書の作成・配布

平成27年度活動報告書(1,200部)を発行し、クラブ・連合会、募金してくださった方々などに送付した。

公益 3

VII. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	3,300	種をまこう
5月号	2,900	育てよう
6月号	3,200	視野を広げよう
7月号	3,100	挑戦しよう
8月号	2,900	体験しよう
9月号	2,800	伝えよう
10月号	3,000	学ぼう
11月号	2,800	続けよう
12月号	2,900	協力しよう
1月号	3,100	本気になろう
2月号	3,400	努力しよう
3月号	2,900	分けあおう
合 計	36,300 部	(前年度37,800部)

(2)「愛」

号	発行部数	備 考
4月号	1,200	
5月号	1,200	
6月号	1,300	
7月号	1,700	「ふれあい特集号」373部含む
8月号	1,200	
9月号	1,200	
10月号	1,400	
11月号	1,800	「ふれあい特集号」480部含む
12月号	1,400	
1月号	1,500	
2月号	1,700	
3月号	2,000	「ふれあい特集号」511部含む
合 計	17,600部	(前年度18,500部)

2. 平成29年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

題 名 「よろこび 見つけた」
 作 者 〈絵と文字〉落合 勲（書家）
 内 容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけたいこと、実行したいことを31日分の言葉にまとめ、絵手紙風の絵を添えて制作した。
 体 裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り
 印刷部数 17,000部(宣伝用含む)
 第1回納品－7月7日、第2回納品－9月2日

(2) 販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区 分	件 数	部 数
SYDオリジナル	70	2,447
予 定 表 付	26	179
無 地	41	1,290
注文名入れ印刷	57	11,685
合 計	194件	15,601部
前年度合計	206件	14,853部

※ 8月31日～9月3日

修養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下10社を販売促進活動で訪問【保坂】

3. 教育図書の普及、教材の販売

『蓮沼門三の言葉110』、『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,100部(4頁または6頁)を発行し(N0.95~105)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

公益4・収益1

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

(1) 利用状況

〈別表-14〉

ア. SYD主催講習会等

開催数 19回(前年度19回)
参加者 1,451名(前年度1,648名)

イ. 受託講習会等(修養団方式)

開催数 25回(前年度25回)
参加者 1,096名(前年度1,100名)

ウ. 一般研修会

開催数 26回(前年度25回)
参加者 1,312名(前年度1,756名)

2. ばんだいふれあいびあ

(1) 利用状況

〈別表-15〉

月	利用団体数	利用者数	延べ利用者数
4月	2	46	139
5月	5	45	126
6月	3	27	46
7月	6	180	412
8月	6	233	691
9月	2	33	93
10月	2	24	50
11月	1	14	28
12月	2	94	417
1月	1	33	99
2月	1	5	10
3月	4	171	629
合計	35回	905名	2,740名
前年度合計	21回	731名	2,187名

(2) 施設の整備等

回数	期 日	スタッフ	備 考
1	5月 6日(金)	青木富造	ふれあい荘修繕工事打合せ
2	5月26日(木)～27日(金)	青木富造、谷野渉 ボランティア5名	ふれあい荘修繕工事状況確認 キャンプ場整備(テントサイト、アンテナ)
3	7月27日(金)～28日(木)	青木富造、谷野渉	キャンプ場整備(センター裏、テントサイト)

※1月17日(火) 青木、佐藤により関係先挨拶回り

3. 修養団SYDビル

(1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

ア. SYDホール

回 数 164回(前年度191回)

利用者数 21,760名(前年度23,160名)

イ. SYD会議室(16階)

回 数 47回(前年度50回)

利用者数 670名(前年度800名)

(2) SYDビル及びホールの整備等

テナント、ホール利用者に快適なオフィス環境の提供や利用促進を行うため、以下の整備等を行った。

ア. SYDホール

・マイクシステム等音声機器復旧追加工事(6月)

・ホール可動壁、誘導滑車及びワイヤーロープ交換工事(9月)

イ. SYD会議室

・壁面クロス及び机天板・側板修復工事(平成29年2月)

4. 関西会館

テナント(1階、2階部分)の適正管理を行った。

その他

IX. 関係機関・団体との協力活動

1. 関係機関・団体への委員等の就任

社会教育団体振興協議会

〃

(独) 国立青少年教育振興機構

ミクロネシア事業総合評価委員会

副会長 御手洗康

幹 事 久世郁夫

委 員 久世郁夫

X. 表 彰

1. 平成28年度功労者表彰

特 別 賞 【蓮沼賞】 3名

漆原幸保（東京都）、岩崎 守（鹿児島）、亀崎康弘（鹿児島）

表 彰 個人：10名

感 謝 状 個人：19名 団体：9団体

XI. 諸会議の開催等

1. 理事会

（1）第1回理事会

期 日 5月23日（月）

会 場 SYD会議室

出席者 理事：10名、監事：2名

欠席者 理事：3名、監事：1名

議 題 ア. 平成27年度事業報告について
イ. 平成27年度収支決算について
ウ. 基本財産の処分について
エ. 理事の改選について
オ. 主幹の推戴について（山崎一紀主幹の推戴が決議された）
カ. 平成28年度上期慰労手当の支給について

（2）書面決議による理事会

期 日 6月3日（金）

議 題 理事長、専務理事、常務理事の選任について

＊以下が決議された。

理事長：御手洗 康

専務理事：久世 郁夫

常務理事：青木 富造、武田 数宏、根岸 秋吉

（3）第2回理事会

期 日 12月20日（火）

会 場 SYD会議室

出席者 理事：10名、監事：3名、主幹：1名

欠席者 理事：3名

議 題 ア. 平成29年度基本方針・事業計画大綱について
イ. 平成29年度予算大綱について
ウ. その他 ①次回の理事会について

（4）第3回理事会

期 日 平成29年3月21日（火）

会 場 SYD会議室

出席者 理事：9名、監事：3名、主幹：1名

欠席者 理事：4名

- 議 題 ア. 平成29年度事業計画(案)について
 イ. 平成29年度収支予算(案)について
 ウ. 評議員会の招集について
 エ. 評議員の辞任について
 オ. その他 ①次回の理事会について

2. 第6回評議員会

- 期 日 6月3日(金)
 会 場 SYD会議室
 出席評議員 10名 欠席評議員 4名
 議 題 ア. 平成27年度事業報告並びに収支決算について
 イ. 平成28年度事業計画並びに収支予算について
 ウ. 平成29年度事業計画への要望について
 エ. 株式会社フジタとの賃貸借契約の更新と基本財産の処分について
 オ. 理事の選任について
 カ. 主幹の推戴について(山崎一紀主幹の推戴が決議された)
 キ. その他 ・全国修養団運動推進会議について

3. 後援会役員会

- 期 日 6月16日(木)
 会 場 SYD会議室
 出 席 者 5名
 本部役職員 5名

4. 顧問会

- 期 日 6月29日(水)
 会 場 SYD会議室
 出 席 者 3名
 本部役員 5名

5. 弔 事

(1) 物故者芳名(敬称略)

- | | | | |
|------|-------|--------|-----------------------------|
| 東京都 | 四方 洋 | 4月 9日 | (元サンデー毎日編集長、修養団常務理事) |
| 福島県 | 大庭 輝夫 | 5月10日 | (元㈱ヨークベニマル常務理事、修養団福島県連合会役員) |
| 福島県 | 佐藤 孝 | 7月24日 | (修養団山都愛汗の会副会長) |
| 神奈川県 | 小玉 正任 | 9月 6日 | (元公文書館館長、修養団顧問) |
| 東京都 | 伏谷 和子 | 10月31日 | (元修養団職員、後援会会員) |
| 新潟県 | 風間 忠雄 | 1月 5日 | (修養団名誉団員、修養団新潟県連合会顧問) |
| 新潟県 | 遠藤美千代 | 3月12日 | (修養団名誉団員、修養団新潟県連合会元副会長) |

6. その他

(1) ㈱フジタとの賃貸借契約の更新と基本財産の処分

㈱フジタとの賃貸借契約（SYDビル3～15階部分）が6月10日で当初の契約期限の20年になり、平成31年6月10日までの3年契約で更新した。

契約更新に伴い、敷金差額約9億円（預かり敷金－新預かり敷金）を返還するため、特定資産取り崩し約5億円に加え、基本財産のうち平成22年4月に明治通り拡張事業のために土地 71.30 m²を東京都が収用した際の補償金相当額約4億円を取り崩して敷金返済に充てた。

(2) 事業経過報告書と収支月報の送付

9月16日付けで4～8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・評議員に送付した。

平成28年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年3月

公益財団法人 修 養 団

後援会活動報告

平成28年度後援会活動は、6月16日の後援会役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額は12,000,000円の達成をめざして6月中旬より活動を開始。

三菱グループ、三井グループ、住友グループ、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越紀州製紙、東芝等々法人会員99社、個人会員169名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,970,000円の会費収入を得る事ができた。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,679,603円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れた。

1. 会員移動状況

(敬称略)

(1) 新入会員〈法人会員 1社、個人会員 9名〉

(三重県) 榎まる天

(北海道) 菊池 広 (千葉県) 松本 清、宮原 信道

(東京都) 矢野 義行 北島 直樹、北島 京子

(三重県) 川口 芳城 (山口県) 佐藤 雅美、小笠原文枝

(2) 逝去会員〈個人会員3名〉

(新潟県) 風間 忠雄、遠藤美千代 (東京都) 伏谷 和子

(3) 退会会員〈個人会員3名〉

(東京都) 児玉 雅子 (福岡県) 執行 京子、平島 憬子

2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉

法人会費 10,000,000円

個人会費 2,000,000円

合 計 12,000,000円

〈募金実績〉

法人会費 9,200,000円

個人会費 1,770,000円

合 計 10,970,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

6月16日の後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、6月中旬より募金活動を開始。平成28年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛発送した。

イ. 訪問活動

6月下旬より関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼と引き続きご協力をお願いをした。

3. 広報活動

(1) 修養団機関誌『向上』6月号に平成27年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に平成28年度のお願いをした。

(2) 『向上』(平成28年度5月号より1年間)及び平成29年度版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

(1) 役員会

期 日 6月16日(木) 11時～13時

会 場 SYD会議室

出席者 常任幹事 伊与部恒雄、金川貴宣、澤田佳久、山口洋二

監 事 芳賀 律(新海一正監事代理)

修養団 御手洗康、山崎一紀、久世郁夫、根岸秋吉、岩佐加寿子

議 事

ア. 平成27年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

イ. 平成28年度後援会事業計画案及び収支予算案について

ウ. 平成27年度修養団主要事業報告並びに

平成28年度修養団主要事業計画について

エ. その他

5. 収支報告 (4月1日～平成29年3月31日まで)

(単位:円)

貸 方 (支出)	科 目	借 方 (収入)	前年度 (収入)
	会費収入 (法人)	9,200,000 (99 社)	9,200,000(98 社)
	〃 (個人)	1,770,000 (169 名)	1,660,000(157 名)
	そ の 他 の 収 入		
10,679,603	修 養 団 後 援 金		
6,929	旅 費		
8,640	印 刷 費		
92,538	通 信 運 搬 費		
135,900	消 耗 品 費		
30,240	会 議 費		
16,150	雑 費		
10,970,000	合 計	10,970,000	10,860,000